

「生活習慣病と味覚」

講演者：重村 憲徳 先生

九州大学大学院 歯学研究院 口腔機能解析学分野・教授

九州大学 五感応用デバイス研究開発センター・複担教授

要旨：味覚は、口腔内に入ってきた物質が生命維持に有益か有害かの判断に関与する重要な感覚である。また近年、超高齢社会を迎え、国の施策として「健康寿命の延伸」が喫緊の課題として謳われており、「Quality of Life: QOL」の維持、つまり人々の健康や豊かな生活環境の維持に貢献できる「味覚」により多くの関心がよせられるようになってきた。

味覚の受容や情報伝達の研究は、近年の分子生物学の発展に伴いダイナミックに展開しており、多くの謎が急速に解き明かされようとしている。本発表では、甘味感受性と塩味感受性が摂食調節ホルモンや体液調節ホルモンによって感度調節されていること、さらに体内栄養バランス異常と考えられる生活習慣病（肥満・糖尿病、高血圧）とも関与している可能性について、これまでの我々の研究を中心として紹介させて頂きたいと思います。

感覚研究コンソーシアム
味覚ワーキンググループ事務局
樽野 陽幸（京都府立医科大学）

プログラム

開催日時： 2023年12月13日（水）17時より
オンライン（別途ご案内）

17:00 - 17:05 「開会のあいさつ」

樽野 陽幸（京都府立医科大学）

17:05 - 17:05 「生活習慣病と味覚」

重村 憲徳（九州大学大学院 歯学研究院）

17:05 - 17:40 「意見交換会」（企業会員限定）

<問い合わせ先>

担当：日比野 浩

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学大学院医学系研究科 薬理学講座 統合薬理学 内
感覚研究コンソーシアム 聴覚ワーキンググループ事務局

Tel: 06-6879-3512

Fax: 06-6879-3519

Email: hibino@pharma2.med.osaka-u.ac.jp